



2020年6月22日

各 位

会 社 名 マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 一将
(コード番号 3132 東証第1部)
問合せ先 取締役 佐野 繁行
(TEL 045-470-8980)

2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月7日に公表した「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)業績予想及び配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月7日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回予想(B)	237,500	5,600	4,900	2,980	48.31
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減額(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	254,421	6,723	4,830	2,979	47.54

(2) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月7日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回予想(B)	500,000	12,600	10,700	6,500	105.38
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減額(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	521,193	14,447	11,072	5,633	90.14

(3) 連結業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」を発表した2020年5月7日時点では、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。しかしながら国内における緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開されつつあることから、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき連結業績

予想を決定したものであります。

2021年3月期は、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響が存在しており、テレワークの拡大からそれに関わるIT需要の増加が見込まれるものの、当社グループが主に注力しております車載、産業機器市場への影響等は避けられないことから、売上高は前連結会計年度を下回る見込みであります。業務効率化による販売費及び一般管理費の削減や支払利息の減少に伴う営業外費用の減少を見込んでおりますが、売上高の減収に伴い営業利益及び経常利益は対前期比で減益となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前期発生した投資有価証券評価損を現時点においては見込んでおりませんので、前連結会計年度を上回る予想です。

今後につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期、米中貿易摩擦など様々な要因に大きく影響を受ける可能性があります。今後、2021年3月期の業績見通しに関し開示すべき事象等が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年5月7日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回予想	25.00	25.00	50.00
当期実績	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	25.00	25.00	50.00

(2) 配当予想の理由

当社の配当の基本方針は、将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対し極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることとしております。

2020年5月7日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期配当予想を未定としておりましたが、当社の配当方針と、上記に記載した2021年3月期連結業績予想とを勘案し、前期と同じく中間配当及び期末配当をそれぞれ1株当たり25円、年間配当を50円とする予定です。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上